



スマイル Pick Up!

市民の笑顔
お届けします

「斜めの視点」で勝高生の探究学習を深める



勝山市地域おこし協力隊
永野 龍典さん (41) = 昭和町1 =
さん。その一方で、「子どもたちは、基礎学力以外に社会で求められる力について、授業で学ぶ機会がほとんどないのが現状。社会に出る前に学ぶチャンスを活かしてほしい」と思うようになったそうです。

先月から地域おこし協力隊に就任した永野さん。神奈川県出身で、これまで民間企業でマーケティングリサーチで企業の課題解決のための調査に取り組みほか、NPOなどと協働で社会課題に関する調査も実施されてきました。

また、勤務先で社員教育やインターンシップの受け入れを担当したり、指導力を磨くため、大学の授業をサポートするTA(ティーチングアシスタント)をされてきたそうです。

「これまでも、思考力や表現力などを伝えることで、新社会人や大学生たちの成長する姿を見てきました」と話す永野

そのような中、来年度から全国の高校で「総合的な探究の時間」が導入されるにあたり、「先生の視点だけではなく、民間企業も経験した私だからこそ斜めからの視点で、学生たちが社会で活躍できる力を伸ばしていきたいです」と、地域おこし協力隊としての活動を決意されたそうです。

今後は、勝山高校で探究学習に関わりながら、高校生の成長だけでなく、探究学習を通して、地域へもよりよい効果を波及できる仕組みを考えていきたいです」と意気込みを話していました。

お面さん祭り 今年の表情は?

■2月11日 滝波町ふれあい会館



■2月12日 北谷町谷区教会



市指定無形文化財である滝波町と北谷町谷のお面さん祭りが行われました。お面の表情が笑って見るとよい年になるとのいわれがあり、1年ぶりにお面が開帳されたこの日、参拝した住民はお面の表情をじっくりと確かめていました。

HOT話題

おめでとうございます



令和3年度の福井県文化功労賞に選ばれた勝山左義長ばやし保存会が、市長に受賞を報告しました。榎家 淳一郎会長は、左義長ばやしの継承や後進の育成を継続するなかで、櫓のない地域の子どもたちも打ち手として育成していきたいと話しました。

冬の森を楽しむ

冬の森の楽しみ

自然は春夏秋冬それぞれに違った姿を見せてくれますが、この雪の降る勝山で、冬に森の中を歩いた経験がある人は、少ないかもしれません。場所を選んで、防寒具やスノーシュー(または、かんじき)などの装備を整えることで冬の森も楽しむことができます。

冬とその他の季節の景色の大きな違いは、雪の有無と落葉広葉樹(冬に葉を落とす樹木)の葉の有無です。夏には、草木が繁茂することによって、地形やそこに暮らす動物たちの様子が隠れてしまっています。例えば、冬に村岡山を歩くと(平地から見てもですが)、谷や尾根などの地面のごぼごぼの様子が見えやすくなります。また、森での野鳥観察も鳥たちが姿を隠す場所が少ない、冬の季節がおすすめです。植物があると、さえざせざは聞こえても姿はなかなか目視することはできないですね。哺乳類についても、シーズンを通して姿を直接目にするのはあまりできませんが、雪があることで、動物たちの活動の一端を見ることが出来ます。それが足跡(アニマルトラック)です。このあたりの森では、ウサギやニホンカモシカ、タ



大師山より勝山市内を望む

ヌキ、キツネ、イノシシなどのものがよくみられます。足跡を見つけたときに、それを残したのがどんな動物か、どっちに向かったのか想像したり、ちよつと後をつけてみるのも面白いかもしれません。植物も死んでいるわけではなく、ちゃんと冬芽をつけて、春に備えて密かに準備している様子を見ることも出来ます。見晴らしの利く高台からは、ほかのシーズンに比べて、空気が乾燥し、水蒸気が少ないため、クリアな景色を見ることが出来ます。

暦の上では春ですが、しばらく残雪があると思うので、こうした雪国の冬ならではの冬の森を楽しんでみてはどうでしょう。挑戦してみたいと思う方は、必ず経験者の方と服装や装備を確認した上で、一緒に行ってください。

勝山市ジオパークガイドの会でも冬の森を案内しています。



ガイドの申込はこちら

勝山高校 コラム

「ひびきは空に」〜まこと真・誠・信〜



勝高HP

【卒業式】

3月1日卒業証書授与式が挙行され、97人が学び舎を巣立ちました。コロナ禍の影響で多くの行事が中止や延期、規模縮小となった高校生活でしたが、生徒たちは、創意工夫して様々なことを楽しむとともに、進路実現へ向けてしっかりと頑張っていました。



【進路状況】

国公立大学の個別試験は、2月25日に始まり3月12日に全日程を終えます。合格発表は3月下旬まで続きます。

合格状況(2月25日現在)

国公立大学▼6人(福井県立大5人、福知山公立大1人)

私立大学▼68人(上智大、東洋大、駒澤大、東京農大、日本体育大、同志社大、立命館大、関西学院大、関西大、近畿大、関西外大、京都外大、京都産業大、龍谷大、福井工業大、仁愛大、福井医療大、金沢工業大、中京大、名城大、愛知学院大など)

短期大学▼8人

専門・各種学校▼25人

就職▼公務員2人、民間3人

【部活動】

スキー部▼中村大輝さん(2年)、村松太郎さん(2年)、竹内享汰さん(1年)が、県代表として、全国高等学校スキー大会(インターハイ・2月6日〜10日)、国民体育大会スキー競技会(2月16日〜20日)、全国高等学校選抜スキー大会(2月22日〜25日)に出場しました。

男女バドミントン部▼3月26日〜28日、栃木県宇都宮市にて開催される全国高等学校選抜バドミントン大会に、男子学校対抗、男子ダブルス・竹野輔さん・大田透真さん(ともに2年)ペアと女子ダブルス・國吉穂乃叶さん(2年)・工谷羽音さん(1年)が出場します。

応援よろしくお願いします。

【ふるさと福井CMコンテスト】

ふるさとを愛する心と社会に貢献する志を育成することを目的に開催されたCMコンテスト(応募作品248点)で、沼田伍生さん・中野皓太さん・三川倅芽さん(ともに1年)の作品「何もないとほわせない」が、広く福井県の観光資源に目を配る度量の広さなどについて評価され、優秀賞に選ばれました。

何もないとほわせない